

ひがしいず 9



特集

認知症になっても安心して暮らせるまちへ

～チームオレンジとして活動する～

認知症特集

認知症になっても

安心して暮らせるまちへ

「チームオレンジ」として活動する！

広報がしいずの認知症特集では、令和6年度に町内の中学校で行われた「認知症サポーター養成講座」の様子を紹介しました。また、昨年度はサポーター養成講座を受講した地元企業での高齢者搜索模擬訓練を取り上げ、地域に根差したお店として高齢者や認知症の方々を支える皆さんの取り組みを紹介しました。

今回は認知症サポーター養成講座を受講後、更に認知症の正しい知識を深める「ステップアップ講座」を修了し、地域で「チームオレンジ」として活動をしている方々と、これから活動を始ようと準備を進める方々にスポットを当てます。

チームオレンジとは？

チームオレンジとは、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、認知症の方と家族を地域全体で支える取り組みです。

認知症サポーターがチームを組み、「ステップアップ研修」で知識やスキルを習得した上で活動します。主に認知症の人やその家族に対して見守りや声かけ、交流活動を行い、継続的につながりながら支援を行っています。また、チームオレンジでは認知症の方や家族の方も一員となって活動していくことができ、当事者が地域の人々と関わるきっかけにもなっています。

サポーター一人ひとりができることから参加することが大切であり、チームとしてお互いを助け合うことで、誰もが安心して暮らせる地域づくりに参画することができます。

東伊豆町内の
認知症患者

約500人

※介護認定者、認知症高齢者
日常生活自立度Ⅱa以上東伊豆町で誕生した
認知症サポーター

4196人

※令和8年7月現在「認知症サ
ポーター養成講座」を受講し
た延べ人数ステップアップ講座
の受講者

103人

チーム
オレンジ認知症の方
本人やその家族地域包括
支援センター医療・介護
機関地域住民
・民生委員その他地域の商店、郵便局、
社会福祉協議会など

- ・認知症の方への見守り、声かけ
- ・認知症予防活動
- ・地域の人々との交流促進など

東伊豆町のチームオレンジ

介護予防ボランティアはあとさん

普段の活動内容を教えてください。

「介護予防ボランティアはあと」は、「若がえり健康教室」に通っていた方を中心に、現在19名で活動しており、発足して12年になります（令和8年7月時点）。毎週金曜日は教室のサポート、月曜日は高齢者の集いの場として「はあとクラブ」を開催しています。

はあとクラブではいつもラジオ体操から始まり、お口の体操のほか、フリートークやトランプ、サイコロゲームなどを組み合わせて、皆でわいわい楽しむことを大切にしています。体操中心の教室とは少し違い、楽しみの中に認知症予防の要素を取り入れているのがはあとクラブの特徴です。

チームオレンジとしてどのような取り組みを行っていますか？

私たちは、令和6年4月に「認知症サポーター養成講座」を、8月には「ステップアップ講座」をメンバーで受講し、認知症への理解を深めました。

しかし、「チームオレンジ」として何か特別な活動を計画しているわけではありません。メンバーが普段の生活や

クラブでの活動、個人的に通っているニューサマーカフェ（認知症カフェ）などで、地域でちよっと心配な方や気になる方を見守ったり、「一緒にどう？」と声をかけたりしています。そうしたことの積み重ねが、ボランティアの活動全体を通して、自然とチームオレンジとしての取り組みになっているのだと思います。



トランプなどのゲーム中は笑いが絶えず、頭を使いながら参加者全員が楽しんでいました。

★「はあとクラブ」にご興味のある方は、地域包括支援センター（☎95-1106）へお気軽にお問い合わせください。



介護予防ボランティアはあと
垂井 正さん

気軽に声を掛け合って参加できるようなクラブへ

私たちは参加者の皆さんが心から楽しみ、いつでも笑顔で参加してもらうことを願っています。参加した方が楽しそうに自分の話をしていたり、ゲームで笑い合ったりする姿を見るとやがいが感じますね。

チームオレンジとして特別意識しているわけはありませんが、認知症予防に繋がる体操などを取り入れたり、個々が声を掛け合ったりすることを通して、チームオレンジの役割を担えているなら嬉しいですね。

ただ、「ここに来て一緒にワイワイやった方がいいのにな」というような、本当に参加してほしい方が、移動手段やきつかけがないために一歩を踏み出せずにいる現状もあります。今後はもっと参加のハードルが下がり、「月曜の会に行ってみない？」とご近所同士で気軽に誘い合えるような仕組みを、地域包括支援センターと一緒に考えていきたいと思っています。

あなたも「認知症サポーター」になりませんか？

東伊豆町では、認知症について正しく理解し、認知症の方やその家族を地域でさりげなく見守る人々を増やすため、地域や企業、学校等に出向き「認知症サポーター養成講座」を実施しています。

講座では認知症の基礎知識や接し方について、事例の紹介や話し合いなどを通してわかりやすく学ぶことができます。

「認知症について知りたい」「地域で何かできることを始めたい」という気持ちがあればどなたでも参加できます。みなさんも認知症サポーターとして一緒に地域を支えてみませんか。受講を希望される方は地域包括支援センターへお問い合わせください。



中学校での講座（基礎知識の講義）の様子

ステップアップ講座受講・チームオレンジへ

小規模多機能ホームあたがわさん

主任介護支援専門員 はきはら ゆみ
萩原優実さんにお話を伺いました。

普段の業務・サービスについて教えてください。

小規模多機能ホームとは訪問、通い、泊りの三位一体となった介護保険サービス施設です。地域密着型サービスとなっており、東伊豆町の65歳以上の方で介護認定を受けられている方が利用できるサービスとなっています。利用者一人ひとりに応じた柔軟な対応をさせていただいています。

「ステップアップ講座」ではどのようなことを学びましたか？

令和7年度に職員とご利用者様のご家族へ声をかけ、サポーター養成講座を開催し、今年5月にステップアップ講座を開催しました。

ステップアップ講座では、サポーター養成講座の振り返りをし、認知症の方への対応事例を映像で見ながら正しい声かけ対応について話し合いました。

声かけひとつをとっても、日々の業務から気づくことが多々ありました。表情・問いかけの言葉など、些細なこ

とも認知症の方にとっては受け取り方が大きく変わる場合があります。今回の講座では、その経験を皆で共有する良い機会となりました。

チームオレンジとして、どのような活動を予定していますか？

小規模多機能ホーム内のイベントを地域へ開放し、「小規模でこんなことをしているよ」「行ってみない？」というような、地域の方々と近い関係づくりができる場を作りたいと考えています。まずは当施設の月行事に合わせて活動を行い、できることから始めていきたいと思っています。



ステップアップ講座の様子。業務中の経験を共有し、よりよい対応方法を検討していました。

誰でも気軽に立ち寄り、居場所となる施設へ

わたしたちが目指すのは「認知症の有無にかかわらず、「安心・安全に暮らせる」仕組みを作ることです。それは町や地域で、向こう三軒両隣のおせっかいお婆さんがいた時代のような、「誰でも気軽に声を掛け合える心温まるつながり」を築くことではないでしょうか。

「小規模多機能ホームあたがわ」は、町で地域密着型サービスを提供する施設です。その環境を活かし、年齢・障害の有無の垣根を越えて活動ができ、皆さんの居場所となる施設を目指しています。また、近隣のチームオレンジの方々と協力できる活動を行ってみたいと考えています。

「誰でも気軽に声を掛け合える心温まるつながり」、その橋渡しの役を小規模多機能ホームが担うことができれば良いと思います。

ぜひお気軽に「小規模多機能ホームあたがわ」に遊びに来てください。



小規模多機能ホームあたがわ
おがわしのぶ
小川 忍さん

東伊豆町 地域包括支援センター

「地域包括支援センター」は町の高齢者の総合相談窓口です。町民が住み慣れた自宅や地域で生活できるよう、社会福祉士、看護師、主任介護支援専門員の資格を持った職員が様々なサービスの紹介や相談に応じたり、関係機関との連絡・調整を行い、支援しています。

「最近物忘れが気になる」「家族の認知症が気になるが、医療や介護にどのようにかかったら良いか？」「認知症になっても今まで通り自分の好きなことをやりたい」「このような悩みがあります。たら、お気軽にご相談ください。



東伊豆町役場2階

健康づくり課内

☎95-11106

今年も運行！環境にやさしい電動車両 グリーンスローモビリティ「稲取キンメ号」 実証実験

昨年冬の運行に続き、今年もグリーンスローモビリティ「稲取キンメ号」の実証実験を行います。今年は**より多くの方々が一度に乗れるよう定員を増やし**、昨年の利用傾向から、**より便利な11箇所の停留所に再編**しました。稲取のまちなかをゆっくり走るグリスロにぜひ乗って、体験してみてください。

グリーンスローモビリティ（グリスロ）とは？

グリスロは、時速20km未満で公道を走る電動車両で、静かで環境にやさしく、乗り降りがしやすいのが特徴です。予約不要で、どなたでも気軽にご利用いただけます。

※低速での走行となるため、車の運行の際にご不便をおかけすることがありますが、安全運行のためご理解とご協力をお願いいたします。



乗車イメージ（実際の車体と異なります）

運行期間

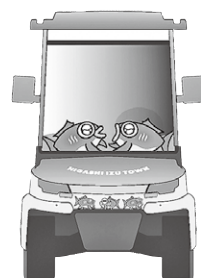
令和8年 **10月1日(木)～11月29日(日)**

運行時間 10:00～16:43（昼休憩あり）

運行間隔 おおよそ45分間隔

運賃 1回 250円／1日乗り放題 500円

予約不要！



運行エリア 約45分かけて①～⑪を1周（約2.5km）



出典：国土地理院「地理院タイル（淡色地図）」を加工して作成

大人のための 体力テスト

～あなたの体力年齢は何歳ですか？～

健康マイレージ対象！

参加無料！



町内に住んでいる20歳以上79歳以下の方を対象とした体力テストを実施します。今の自分の体力を知る良い機会ですので、皆さまぜひお越しください。（参加費無料）

日 時

9月26日(土) 13:00～

場 所

稲取小学校体育館 2階

実施種目（予定）

上体起こし 握力 シャトルラン 立ち幅とび 反復横とび 長座体前屈

※65歳以上の方は、一部実施種目が異なります。

持ち物

・飲み物・タオル・体育館シューズ



参加希望の方は事前に問合せ先までご連絡ください。（当日参加受付も可能です）



問合せ先

教育委員会事務局 社会教育係

☎95-6206

運動期間 9/21(月)～9/30(水)

秋の全国交通安全運動

交通指導員を募集しています！

～わたしたちの活動で、子どもたちの笑顔を守っています～

交通指導員会は、地域みなさんに親しまれ、ボランティア精神で活動している団体です。朝の通学路での街頭指導や、町の各種イベントでの交通安全指導を行っています。

あなたも街頭に立って、子どもたちの登下校を見守りませんか？「子どもを交通事故から守りたい」という思いがあり、健康で熱意のある方をお待ちしています。興味をお持ちの方は、お気軽にご相談ください。



問合せ先 防災課 ☎95-1103

9月10日～9月16日は 自殺予防週間です。

心の健康相談会

眠れない、お酒の量が増えた、人間関係で悩んでいる等、ご家族、ご友人からのご相談もお受けします。

日 時：9月25日(金) 10:30～

場 所：保健福祉センター

心がもやもやしたり、ざわついたりしたら、
電話やSNSで気軽に相談できます。



まもろうよ ころろ



その心の声を、
聴かせてください。

匿名でも大丈夫です。うまく話せなくても大丈夫です。
あなたの誰にも話せない思い、抱えている気持ちを聴かせてください。



厚生労働省 自殺予防週間・自殺対策強化月間ポスターより

奈良本をぐるっと歩いて秋の健康づくり！

第21回 奈良本ヘルシーウォーク

奈良本区内をめぐるウォーキングと健康チェックができ、ご家族みなさんで楽しめるイベントです。
ぜひご参加ください。(詳細は、後日回覧されるチラシやLINEをご確認ください)

日時 10月25日(日) 受付 9:00～ 開会式 9:15～

集合場所：JAふじ伊豆熱川支店出荷場前 ※駐車場に限りがあります

申 込：不要

持 ち 物：水分補給できるもの

そ の 他：中止の場合は町内放送でお知らせ
します

【同日開催】健康イベント

時 間：10:00～12:00 (雨天中止)

会 場：奈良本公民館

内 容：体組成計、血圧測定、
血糖値測定など



保健福祉センター 10月行事カレンダー

日 曜	時 間	行 事 名
5 月	9:00～11:30	妊婦相談 (母子手帳交付) (5.13.19.26)
7 水	10:00～11:30	あそびの会
25 日	～	奈良本ヘルシーウォーク (受付 9:00～9:15)
30 金	～	育児サークル (受付 9:40～10:00)

◆日時が変更となる場合がありますのでご確認ください。



34回目の開館記念日は「昆虫」で大盛況！



7月29日の開館記念日にあたり『開館記念イベント』を行いました。

当日は、鈴の会による虫にちなんだ読み聞かせからスタート。そして今回の目玉、「100年先も残る昆虫標本をつくりたい」と願う中学1年生 村木要太さんによる『昆虫・ラボ』！

標本づくりの実演が始まると、みんな一瞬で釘付けに。息をのむようにして要太さんの手元を見つめる参加者のキラキラした目が印象的でした。その後の昆虫クイズでは、会場みんなで大盛り上がり！正解するたびに歓声が上がっていました。また、会場内には要太さんが手掛けた昆虫標本・思いが詰まった手作りポスターも展示され、多くの方が足を止めて見入っていました。



鈴の会による読み聞かせ



昆虫標本づくり実演

いろんな方々に来てもらい、
昆虫の面白さや魅力が伝えられて
良かったです！



クリエイター創出事業連載作品

グリーンフォレストフェスティバル

作・和田翔太、光成佑一、光成孝一



当イベントは5月23日に開催されました。今後の開催については主催（GREEN FOREST FESTIVAL 実行委員会）の情報をチェック！

100歳のお誕生日おめでとうございます

7月14日、100歳の誕生日を迎えられた村木ふじ江さん（大正15年7月9日生）へお祝いの花束と祝金が贈られました。これまでは絵手紙や習字などの趣味を持ち、現在はテレビを見ることや歌を聴くことを楽しんでいるそうです。これからもお元気にお過ごしください。



最後の演奏はお客さんとみんなで 稲取中吹奏楽部 さよならコンサート

7月26日、よりみち135で稲取中学校吹奏楽部のさよならコンサートが開かれました。今年度、3年生6名の引退をもって廃部となる同部にとって最後の演奏会となりました。当日は「前前世」などのヒット曲やコンクールでの演奏曲「Mystic Palette」などを披露。「東伊豆町のうた」と「学園天国」では、中学卒業生や下田吹奏楽団員などが演奏に加わり、来場者と一体となった大人数での演奏で、会場は大きな盛り上がりを見せました。



カーネーション農家の山田和司さん 関東東海花の展覧会 農林水産大臣賞受賞

第74回関東東海花の展覧会カーネーションの部で、町内の農家である山田和司さんが最高賞の農林水産大臣賞を受賞し、8月4日に町長へ報告に訪れました。今回は「スノードロップ」という品種での受賞で、平成29年以来2度目となります。山田さんは「日々の管理の成果が受賞につながった。今後も手に取る人に喜んでもらえる花を作りたい」と今後の抱負を語りました。



ポン菓子づくりの音にびっくり！ 東伊豆認定こども園 セタフェスタ

8月7日、東伊豆認定こども園でセタフェスタが開かれました。年長園児が店主となり、「かき氷」や「金魚すくい」などの屋台を開き、園児たちはお祭りごっこを楽しみました。ポン菓子づくりの実演では、お米がはぜる音に驚いて泣き出す子や耳を塞いで見守る子も見られましたが、できたてのポン菓子を口にすると「おいしい！」と笑顔がこぼれ、おかわりする姿が見られました。



稲取地区祭典 素盞鳴神社お山入り



さざえつかみ捕り大会



ちびっこ縁日

町長コラム



第41回

IWAI SHIGEKI

東伊豆町の未来を考える

「日常と旅が重なるまち」へ。
東伊豆町の新しい歴史を共に。

東伊豆町は、先人の皆さんの創意工夫と努力によって、全国有数の観光地として発展してきました。しかし今、日本の観光スタイルは大きな転換期を迎えています。団体旅行が中心だった「モノ消費」の時代から、その土地ならではの体験や物語を楽しむ「コト消費」の時代へと変化しています。

ホテルや旅館はそれぞれの魅力を磨き多くのお客様を迎えてきました。一方で、宿での滞在が充実したことで町なかを散策する機会が少なくなり、人口減少やライフスタイルの変化も重なって、商店街をはじめとする街なかの賑わいづくりがこれまで以上に重要になっています。だからこそ、宿だけでなく街なかにも自然と足を運んでいただける観光まちづくりを進めていきます。私たちが目指すのは、「日常と旅が重なるまち」です。町民の何気ない暮ら



8月5日に行われた事前説明会

しや地域の魅力が訪れる人の感動につながる。観光のために暮らしを変えるのではなく、暮らしやすい町をつくるのが観光の魅力を高めることにもつながると考えています。

入湯税の引き上げによる財源を活用し、「大川、北川、奈良本・熱川、片瀬・白田、稲取」の5エリアで地域の皆さんと将来の姿を描いてきました。いよいよ、その構想を具体的な形にしていく段階です。

先月には、「まちづくり案」公募に向けた事前説明会を開催し、多くの皆さんにご参加いただきました。皆さんのアイデアが、この町の未来をつくる大きな力になります。観光まちづくりは息の長い取り組みです。今回応募できなかった方もぜひ次回はご参加ください。皆さんとともに東伊豆町の新しい歴史を築いていきたいと思っています。

「よりみち135」からのお知らせ

よりみちブックイベント開催！

本やZINE、雑貨が集まる「よりみちブックイベント#4」を開催します。

町内外から本屋さんやZINE作家、雑貨店など約10店舗が出展予定です。本との新しい出会いや、作り手との交流を楽しみながら、お気に入りの一冊や一点を見つけてみませんか。どなたでもお気軽にお越しください。

日時：9月20日(日) 10:00～16:00

会場：よりみち135



10月行事カレンダー

日	曜	時 間	行 事 名	場 所
1	木	～	秋のすすき御朱印さんぽ (10/1～11/30)	済広寺、清光院、栄昌院、東泉院
		13:00～15:30	「共に」「生きる」カフェ ニューサマーカフェ	いきいきセンター
3	土	14:00～21:00	第57回 どんつく祭	稲取温泉街
4	日	～	ひがしいず幼稚園運動会	ひがしいず幼稚園グラウンド
7	水	～	音読サークル 10:00/14:00	町立図書館
		19:00～20:00	ミニテニス	町立体育センター
10	土	13:00～16:00	実りのZINEワークショップ①	よりみち135
11	日	13:00～16:00	実りのZINEワークショップ②	よりみち135
12	月	14:00～15:00	実りのZINEワークショップ③	よりみち135
17	土	～	稲取中学校運動会	稲取中学校
		～	熱川中学校体育祭	熱川中学校
20	火	10:00～12:00	賀茂障害者就業・生活支援センター わ サテライト相談会	役場1階会議室
21	水	19:00～20:00	ミニテニス	町立体育センター
22	木	13:00～15:30	「共に」「生きる」カフェ ニューサマーカフェ	奈良本公民館
		10:00～15:00	住民相談	役場1階会議室
24	土	～	図書館文化講演会	町立図書館
26	月	15:30～17:00	ねこさいの日	北川ねこさい広場
30	金	10:00～16:00	細野高原秋のすすき鑑賞会 (11/29まで)	稲取細野高原

◆日時が変更となる場合がありますのでご確認ください。

9月、10月は行政相談月間です

雇用、年金、登記、河川、道路など国の仕事やその手続き、サービスについてどこに相談してよいかわからないといったことはありませんか。住民の皆様が相談をされる際、身近な“窓口”になるのが、「行政相談委員」です。相談は、秘密厳守で無料ですのでお気軽にご相談ください。

○住民相談

日 時：9月17日(木)、10月22日(木)
10:00～15:00 (受付 14:30まで)

場 所：東伊豆町役場 1 階会議室

◎問合せ先

住民福祉課窓口係 ☎95-6203

総務省静岡行政監視行政相談センター ☎0570-090110

おこまりなら まるまる くじょうひゃくとうばん

救急の日・救急週間のお知らせ

9月9日の「救急の日」及びこの日を含む9月6日(日)～9月12日(土)の1週間は「救急医療週間」です。

『救急車の適正利用にご理解ください。』

救急車は限りある資源です。本当に救急車が必要な人のために、ご協力をお願いします。

○救急安心電話相談窓口のご案内 (24時間365日対応)

【#7119】おおもね15歳以上の方対象

急な病気やけがをしたときに、救急車を呼んだ方がよいのか、病院に行った方がよいのかなどで迷った際に、相談員から受診の必要性や医療機関の案内を受けることができます。

※ダイヤル回線・IP電話の方は☎054-204-7119

○静岡こども救急電話相談窓口のご案内 (24時間365日対応)

【#8000】おおもね15歳未満のこども対象

15歳未満のこどもの医療相談について、小児科医師や看護師から電話でアドバイスを受けられます。

※ダイヤル回線・IP電話の方は☎054-201-9910

★マイナ保険証を利用すれば、話すのがつらい時、薬を忘れたときでもより適切な処置が受けられます。

◎問合せ先

駿東伊豆消防本部東伊豆消防署 ☎95-0119

令和11年度中学校統合に向け 学校教育環境整備委員会が始まりました

本委員会は各分野から選出された委員10名で構成され、教育委員会から諮問を受け、中学校統合の必要性や統合先の選定、統合に伴う課題の洗い出しおよび必要な整備や施策について様々な知見から検討を行います。

今年度中に中学校の統合を進めるかどうかを判断する重要な会議であり、地域の教育環境向上と子どもたちの学びの充実を目指しています。

今後の検討状況や決定事項については、随時町ホームページや広報紙等でお知らせします。

◎問合せ先 教育委員会事務局 ☎95-6207

納期までに収めましょう

水道料金3期分

納期 9月30日(水) 口座引落日 9月28日(月)

国民健康保険税3期分 介護保険料4期分
後期高齢者医療保険料2期分

納期 9月30日(水)

忘れずにお願いします

◎問合せ先 水道課 ☎95-2353 税務課 ☎95-6300
健康づくり課 ☎95-6304

令和8年度 満3歳児保育 園児募集

ひがしいず幼稚園では、9月1日より満3歳児保育をスタートしました。

満3歳の誕生日を迎えた翌日から入園できます。お兄さんやお姉さんと一緒にのびのびと遊びながら、生活習慣や集団生活の基礎を育んでいきます。

入園可能期間は、3歳の誕生日の翌日から令和9年3月1日です。入園申込や詳細については、町のホームページ又はひがしいず幼稚園・教育委員会にお問い合わせください。

◎問合せ先 ひがしいず幼稚園 ☎23-0847
教育委員会事務局 ☎95-6207



はかりの定期検査を実施します

定期検査の対象となるはかり

- ① 商店や工場等で取引に使うはかり
- ② 薬局等で薬剤調合用に使うはかり
- ③ 荷物運送業等で荷物の料金を決めるのに使うはかり
- ④ 茶、乾し椎茸等を販売するために使うはかり
- ⑤ 学校、病院等で健康診断書の作成のために使うはかり

検査日程 (いずれも9月)

- ・28日(月) 13:30～16:00 片瀬地区防災センター
- ・29日(火) 10:00～12:00、13:00～16:00
片瀬地区防災センター
- ・30日(水) 10:00～12:00、13:00～16:00
東伊豆町役場

はかりの定期検査受験者には、検査前の10日前までに計量協会から「計量器定期 検査通知書(はがき)」が送付されます。

◎問合せ先 観光産業課 ☎95-6301
(一社) 静岡県計量協会 ☎054-278-8308

不動産無料 なんでも相談会

空き家・空き地相談、不動産トラブル、住宅の購入や売却などについて、宅建士が公の立場で相談に乗ります。お気軽にご相談ください。※当日は先着順で対応します

日 時：9月16日(水)

10:00～12:00 13:30～15:00

場 所：ペイステージ下田4階(下田市外ヶ岡1-1)

◎問合せ先

(公社) 静岡県宅地建物取引業協会東部支部
☎054-207-8025 (予約優先)

あいさつ運動推進標語

あいさつは 何にもまさる おもてなし
広げよう あいさつの輪を まちじゅうに

— 戸籍コーナー —

7月16日～8月15日までに
届出があったもの (敬称略)※このコーナーに掲載を望まない方は
事前に係までお申し出ください。

おくやみ申し上げます

地区	氏 名	生年月日	年齢	亡くなった日	屋 号
奈良本	佐 藤 直 人	S59.11.1	41	R 8.8.8	
奈良本	佐々木 みち子	S17.4.12	84	R 8.8.13	
片 瀬	鈴 木 純 子	S23.3.8	78	R 8.7.21	鈴木床屋
白 田	吉 間 昭 夫	S 3.12.1	97	R 8.7.16	大下
入 谷	八 代 一 正	S23.1.23	78	R 8.8.5	上の院居
水 下	田 村 晴 志	S25.1.16	76	R 8.7.22	前
西 町	内 田 一 江	S27.9.28	73	R 8.7.19	
東 町	鈴 木 義 行	S31.9.19	69	R 8.8.4	奥丸
東 町	加 藤 雪 江	S 3.10.18	97	R 8.8.13	正定寺

東伊豆ライフ

「のんびり行こう」



場所…片瀬地区

東伊豆町は海が近く、電車に乗って海を眺めながらのんびりと移動する楽しみがあると思います！(ペンネーム：元気な少年さん)

みなさんの『ひがしいずライフ』大募集！

「家族との思い出」「かわいいペット」「お気に入りの風景」など、皆さまの投稿をお待ちしております。



(住 民 基 本 台 帳)

町 の 人 口	(前月比)	7月の異動
(令和8年7月31日現在)		
人 口	10,637人 (－11)	転 入 48人
男	5,078人 (－ 1)	転 出 36人
女	5,559人 (－10)	出 生 2人
世帯数	6,191世帯 (－ 6)	死 亡 25人

届出日より、実際の異動数と数値が異なる場合があります。

ハロウィンジャンボ4億円
(1等2億円・前後賞各1億円合わせて)
ハロウィンジャンボミニ4,000万円
(1等2千万円・前後賞各1千万円合わせて)
この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。
9月16日の2種類同時発売! 発売期間 9/16～10/16
抽せん日 10/26
公益財団法人静岡県市町村振興協会 各1枚 300円

地域おこし協力隊 活動日記

「芝生と共に育む憩いの空間」 宮本 成就

最近、よりみち135の園庭にある芝生の手入れを続けています。水やりや雑草取り、芝刈りなど、一つひとつの作業は地道ですが、少しずつ緑が広がり、芝生が育っていく様子を見るたびに嬉しい気持ちになります。暑い日が続く中でも、毎日少しずつ変化する芝生を見ていると、日々の積み重ねの大切さを実感します。手をかけた分だけ応えてくれる芝生は、私にとって活動の励みにもなっています。これからも、町民の皆さんや観光で訪れた方に親しまれる場所を目指し、施設の環境づくりに取り組んでいきます。



「ようようから広がる、学生応援の輪」 梅田 留奈

夏休みシーズンも終わり9月になりましたが、まだまだ暑い日が続きますね…。私が担当する「まちのレセプション ようよう」にも、夏休みの期間中、多くの観光客の方が訪れてくださいました。地元の高校生の来店も多く、ワークスペースで宿題をしたり、ドリンクを飲んで涼む姿が見られて、とても嬉しかったです。

ようようでは、観光客や地元のおとなが「学生応援ドリンクチケット」を購入して高校生にプレゼントすることで、高校生が無料でドリンクを飲めるという企画を常時開催中！夏の間にたくさんご利用いただいたため、現在は高校生が使えるチケットが少なくなっています。毎日部活や勉強をがんばる高校生に、応援メッセージ＆ドリンクをプレゼントしていただけると嬉しいです！

